

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 登別市・白老町観光連絡協議会負担金
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	1	広域連携による濃密な情報発信
事務事業番号	002	事務事業コード 31121002 事業開始年度 平成 1 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光一般経費
------	------	------------	--------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室観光振興 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 修学旅行者等の誘客
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 白老町との広域による修学旅行パンフレットの製作、修学旅行代理店へのセールス活動及び国内外の誘客促進を図るため、登別市・白老町観光連絡協議会に補助金を交付し支援する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 北海道の代表的な文化であるアイヌコタンのある白老町と連携した誘客事業は、主として修学旅行に効果的であり、当該事業を継続することで、修学旅行宿泊者数の増加に繋がる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光入込客数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	/	/	/	/
	修学旅行者数	人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	16,004	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	4,500
合 計			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	4,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,733	1,779			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,733	1,779			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
白老町と連携した誘客事業の推進と観光関連業者や産業との連携を図るため、市が主体で事業を実施することは妥当である。			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
国内外や道外での観光プロモーションを白老町と連携して行うことにより、外国人観光客の誘客や当地を修学旅行の行き先候補に上げる学校ができる等、少しずつ成果を上げている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
国内外や道外での観光プロモーションを白老町と連携して行うことにより、外国人観光客や修学旅行生の誘客を図れる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
白老町と連携した事業であり、誘客事業の推進と観光関連業者や産業の推進を図るためにコスト削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	修学旅行等の誘客を目指すため、白老町と連携を図り、国内外や道外において観光プロモーションを継続して実施する必要がある。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）